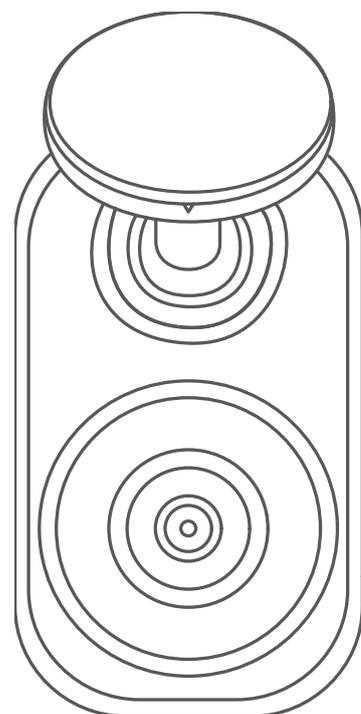
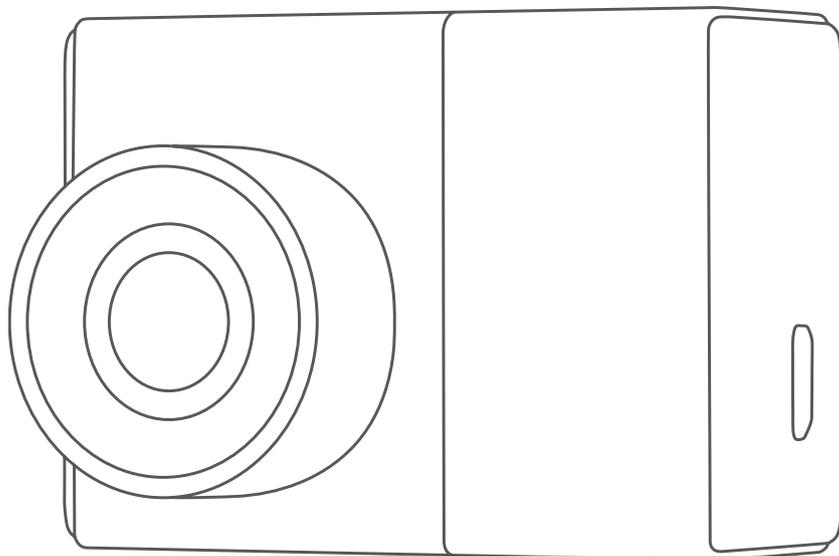


GARMIN®



GARMIN DASH CAM 47Z/MINI 2

操作マニュアル

目次

はじめに	1
使用上の注意.....	1
デバイス概要.....	1
フロントカメラ (Garmin Dash Cam 47)	1
リアカメラ (Garmin Dash Cam Mini 2)	2
リアカメラの時刻を補正する	2
microSD カード.....	2
microSD カードの対応規格.....	2
microSD カードを挿入する.....	2
microSD カードをフォーマットする.....	3
microSD カードを取り外す.....	3
取り付け方法と使用準備.....	3
取り付け範囲.....	3
フロントカメラを取り付ける	3
リアカメラを取り付ける.....	4
フロントカメラの初期設定を行う.....	5
メインページ.....	5
Garmin Drive アプリ	6
Garmin Drive アプリ	6
2 段階認証	6
マルチカメラネットワーク	6
Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする	6
フロントカメラをペアリングする.....	6
リアカメラ(または2台目以降のカメラ)をペアリングする	7
Garmin Drive アプリで映像 / 静止画を再生・保存する	7
Garmin Drive アプリで映像 / 静止画を削除する ..	7
Wi-Fi に接続する	8
Garmin Drive アプリでカメラの設定を行う	8
Garmin Drive アプリでライブビューを表示する ..	8
ライブビュー(ブロードキャスト)	8
リモートライブビュー.....	9
Vault ストレージ	10
Vault のアクセスを有効 / 無効にする	10
映像を再生する	10
映像を共有する	10
映像の共有リンクを無効にする	10
Vault ストレージから映像を削除する.....	10
サブスクリプションプランを購入する.....	10
録画	11

録画について.....	11
映像の保護について	11
映像の自動保護.....	11
映像の手動保護.....	11
映像の音声録音を設定する	11
静止画を保存する	12
Travelapse	12
Travelapse 映像を録画する.....	12
パーキングガード	12
パーキングガードを設定する(フロントカメラ)	13
パーキングガードを設定する(リアカメラ) ..	14
再生	14
映像 / 静止画を再生する	14
映像再生の操作.....	14
静止画再生の操作	14
録画ファイルをトリミングして保存する	14
PC で映像 / 静止画を再生する	15
Garmin Drive アプリで映像 / 静止画を再生する	15
Garmin Drive アプリで映像をスマートフォンに保存する.....	15
Garmin Drive アプリでピクチャーインピクチャーの映像を作成してスマートフォンに保存する	16
Garmin Drive アプリで静止画をスマートフォンに保存する.....	17
安全運転支援機能	17
取り付け位置を設定する.....	17
前方衝突警告(FCWS)	17
前方衝突警告を設定する.....	17
車線逸脱警告(LDWS)	18
車線逸脱警告を設定する.....	18
発進確認警告.....	18
発進確認警告を設定する.....	18
スピードカメラアラート.....	18
スピードカメラアラートのアラート音を設定する	19
ボイスコマンド	19
ボイスコマンドを設定する(フロントカメラ) ..	19
ボイスコマンドを設定する(リアカメラ)	19
ボイスコマンドでデバイスを操作する	19
ボイスコマンドに関するヒント	19
設定	21
本体での設定.....	21

カメラ設定.....	21
安全運転支援設定.....	21
システム設定.....	22
Garmin Drive アプリでの設定.....	23
デバイス情報.....	24
仕様.....	24
Garmin Dash Cam 47.....	24
Garmin Dash Cam Mini 2.....	24
microSD カードの対応規格.....	24
カメラのレンズのクリーニング.....	25
ソフトウェアアップデート.....	25
Garmin Express でソフトウェアをアップデートする.....	25
Garmin Drive アプリでソフトウェアをアップデートする.....	25
サポートセンター.....	25
電子ラベルの規制および準拠情報.....	25
付録.....	26
コンスタントパワーケーブル(別売).....	26
取り付け.....	26
タイマースイッチ.....	26
ステータスランプ.....	26
仕様.....	26
パーキングモードケーブル(別売).....	27
トラブルシューティング.....	27
フロントカメラを再起動する.....	27
操作中にカメラが熱くなります.....	27
microSD カードを交換する(メモリーカードの劣化).....	27
録画した映像がぼやけています.....	28
映像が正常に録画・再生されません.....	28
録画中に液晶画面が消えてしまいます.....	28
商標について.....	28

はじめに

警告

本製品を安全にご使用いただくために、同梱のクイックスタートマニュアル「安全および製品に関する警告と注意事項」に記載される内容を必ずお読みください。

本操作マニュアルでは、Garmin Dash Cam 47 をフロントカメラ、Garmin Dash Cam Mini 2 をリアカメラとして使用する場合の操作方法を記載しています。

使用上の注意

- 定期的に microSD カードのフォーマットを行ってください

映像を記録するには、microSD カードに十分な空き容量が必要です。必要なデータをバックアップして、1～2 週間に1回(少なくとも6ヶ月に1回)の頻度でフォーマットを行うことを推奨しております。

参照 3 ページ microSD カードをフォーマットする

- デバイスのソフトウェアと Garmin Drive アプリは最新のバージョンにアップデートしてください

デバイスをより快適にご使用いただくために、デバイスのソフトウェアと Garmin Drive アプリは常に最新のバージョンにアップデートしてください。デバイスのソフトウェアは、Garmin Express または Garmin Drive アプリでアップデートすることができます。

- リアカメラ(Garmin Dash Cam Mini 2)の時刻を補正してください

リアカメラ(Garmin Dash Cam Mini 2)で正確な時刻の映像を記録するには、Garmin Drive アプリと接続して、リアカメラの時刻を補正する必要があります。リアカメラと Garmin Drive アプリを初めて接続するときは、ペアリングの操作が必要です。正確な時刻を維持するために、初回のペアリング以降も、ご使用前に必ずリアカメラと Garmin Drive アプリを接続してください。

参照 2 ページ リアカメラの時刻を補正する

その他の使用上の注意はこちらをご確認ください。

デバイス概要

注意

運転者が走行中にデバイスの操作を行うと、前方不注意による交通事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停めてから操作を行ってください。

フロントカメラ(Garmin Dash Cam 47)



①	マウントブラケット接続口	
②		押す：電源オン(電源オフ時)、前のページに戻る 3 秒間長押し：電源オフ
③		押す：メニュー / ページのスクロール(上)
④		押す：メニュー / ページのスクロール(下)
⑤		押す：静止画 / 映像の保存、メニュー / オプションの選択・決定
⑥	microUSB 接続口	
⑦	ステータス LED ランプ	赤の点灯：録画中 / パーキングガード録画中 赤の点滅：保護録画 / 静止画保存 / パーキングガード録画待機中 消灯：電源オフ時 / 録画停止時、Wi-Fi 起動中、パーキングガード録画待機中(バッテリー駆動モード時)
⑧	microSD カードスロット	

手動でデバイスの電源をオンにする

内蔵バッテリーを使用してデバイスの電源をオンにする際は、事前にバッテリーをフル充電してください。

注意：デバイスが車の電源に正常に接続されている場合は、エンジンの始動に伴い自動でデバイスの電源がオンになります。

- 1 を押します。
- 2 デバイスの電源がオンになります。

手動でデバイスの電源をオフにする

注意：デバイスが車の電源に正常に接続されている場合は、エンジンの停止に伴い自動でデバイスの電源がオフになります。

- 1 を 3 秒間長押しします。
- 2 デバイスの電源がオフになります。

注意：デバイスに Vault ストレージにアップロードしていない映像が保存されている場合、アップロードが完了してから電源がオフになります。

リアカメラ(Garmin Dash Cam Mini 2)



①	マウントブラケット	
②		押す：音声録音オン/オフ 長押し：microSD カードのフォーマット
③	マイクステータス LED ランプ	赤：音声録音中 緑の点滅(ステータス LED ランプと交互に点滅)：ソフトウェア更新中 黄の点滅(ステータス LED ランプと交互に点滅)：メモリーカードエラー 消灯：音声録音オフ時
④	microSD カードスロット	
⑤		押す：静止画の保存と映像の保護 長押し：ペアリングモード
⑥	microUSB 接続口	
⑦	ステータス LED ランプ	緑の点灯：マストレージモード、メモリーカードのフォーマット中 緑の点滅：録画待機中 緑の点滅(マイクステータス LED ランプと交互に点滅)：ソフトウェア更新中 赤の点灯：録画中 赤の点滅：映像 / 静止画保存中 赤の遅い点滅：パーキングガード作動中 赤と黄の点滅：メモリーカードの空き容量少 / パフォーマンス低下 黄の点滅(マイクステータス LED ランプと交互に点滅)：メモリーカードエラー 青の点滅：Bluetooth ペアリングモード 消灯：電源オフ時

手でデバイスの電源をオフにする(リアカメラ)

注意：デバイスが車の電源に正常に接続されている場合は、エンジンの停止に伴い自動でデバイスの電源がオフになります。

- 1 デバイスの microUSB 接続口から、接続中の microUSB ケーブルを取り外します。
- 2 デバイスの電源がオフになります。

リアカメラの時刻を補正する

リアカメラで正確な時刻の映像を記録するには、Garmin Drive アプリと接続して、リアカメラの時刻を補正する必要があります。リアカメラと Garmin Drive アプリを初めて接続するときは、ペアリングの操作が必要です。初回のペアリング以降も、ご使用前に必

ずリアカメラと Garmin Drive アプリを接続してください。

参照 7ページ リアカメラ(または2台目以降のカメラ)をペアリングする

- 1 リアカメラの電源をオンにします。
- 2 スマートフォンなどのモバイル端末で、Garmin Drive アプリを起動します。
- 3 ペアリング済みのデバイスが Garmin Drive アプリに自動接続し、時刻が自動で補正されます。

microSD カード

デバイスには microSDHC カード (16GB) が付属しています。

注意

microSD カードは消耗品のため、定期的に新しいものに交換する必要があります。

microSD カードの対応規格

デバイスで使用する microSD カードは、次の規格をすべて満たす必要があります。

タイプ	microSDHC カード / microSDXC カード
容量	8GB ~ 128GB
スピードクラス	class 10 以上
ファイルシステム	FAT32

microSD カードを挿入する

注意

microSD カードは、正しい向きでまっすぐと挿入してください。誤った向きで挿入すると、microSD カードやデバイスが破損するおそれがあります。

デバイスでビデオを録画するには、対応する microSD カードをデバイスに挿入する必要があります。

ヒント：付属の microSD カードは、あらかじめデバイスに挿入されています。

参照 2ページ microSD カードの対応規格

- 1 下図に示す向きで microSD カード①をデバイスの microSD カードスロット②に挿入します。

[フロントカメラ]



[リアカメラ]



- 2 microSD カードをカチッと音がするまで押し込みます。

microSD カードをフォーマットする

デバイスで microSD カードをフォーマットします。microSD カードは、少なくとも 6 ヶ月に 1 回の頻度でフォーマットを行ってください。また、別売の microSD カードを初めて使用する場合や、FAT32 ファイルシステム以外でフォーマットされた microSD カードを使用する場合にも、デバイスでフォーマットを行う必要があります。

注意：microSD カードをフォーマットすると、記録されたデータはすべて消去されます。

ヒント：付属の microSD カードはあらかじめデバイスでフォーマット済みのため、すぐにご使用を開始することができます。

[フロントカメラ]

- 1 デバイスを電源に接続します。
- 2 **h** を押してメニューを表示します。
- 3 **[設定] > [カメラ] > [SD フォーマット]** の順に選択します。
- 4 メッセージを確認し、**▶** を押します。
フォーマットが開始します。フォーマットが完了するまで、デバイスを電源から取り外さないでください。
- 5 フォーマットが完了すると、メッセージが表示されます。

[リアカメラ]

- 1 デバイスを電源に接続します。
- 2 **h** を 8 秒間長押しします。
ステータス LED ランプが緑に点灯します。
フォーマットが完了するまで、デバイスを電源から取り外さないでください。
- 3 フォーマットが完了すると、ステータス LED ランプが赤に変わり、録画が再開します。

microSD カードを取り外す

注意

microSD カードをデバイスの起動中に取り外すと、録画データの破損やデバイスの故障の原因となるおそれがあります。

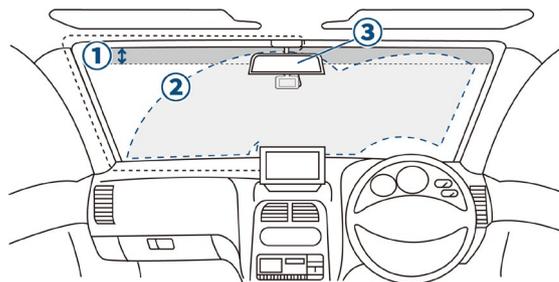
- 1 デバイスの電源をオフにします。
- 2 microSD カードをカチッと音がするまで押し込み、ゆっくりと手を離します。
- 3 microSD カードスロットから microSD カードをまっすぐ引き抜きます。

取り付け方法と使用準備

取り付け範囲

注意

デバイスを誤った位置に取り付けると、道路運送車両法違反となったり、運転の妨げとなって交通事故の原因となるおそれがあります。



- フロントガラスの上部 20% の範囲内 (図①) に取り付けてください。
- カメラのレンズ部分が、ワイパー拭き取り範囲内 (図②) に収まるように取り付けてください。ワイパー拭き取り範囲外に配置すると、降雨時などに鮮明な映像を記録できない可能性があります。
- ルームミラーの裏側に取り付けてください。(図③)
ルームミラーの裏側に車検証などのステッカーが貼られている場合や、ルームミラー操作の妨げになる場合は助手席側に寄せて取り付けてください。
- 視界の妨げにならない場所に取り付けてください。

フロントカメラを取り付ける

注意

マウントブラケットの粘着テープは大変強力なため、一度貼り付けると簡単に剥がすことができませんので、マウントの取り付け位置に問題がないかをよくご確認の上で取り付けてください。

マウントブラケットの粘着テープは、気温が 21°C ~ 38°C の環境下で貼り付けてください。

取り付け後は、粘着テープの粘着力が弱まっていないか定期的に確認してください。

- 1 柔らかい布等に水またはアルコールを少量付け、フロントガラスに付着した埃や油分などの汚れ、ワックス、コーティング剤などをきれいに拭き取ります。
- 2 マウントブラケット上部の平らな面をフロントガラスに合わせながら取り付け位置を確認します。
- 3 マウントブラケットの粘着テープの保護フィルムを剥がします。



- 4 マウントブラケットをフロントガラスに貼り付けます。



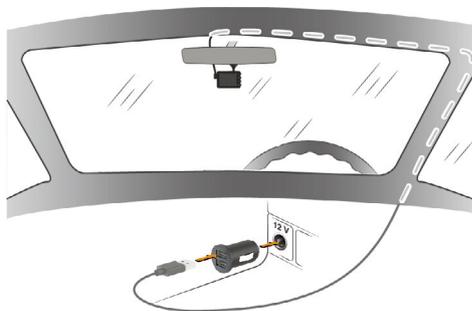
- 5 約 30 秒間、マウントブラケットを押さえながら固定します。
- 6 デバイスの microUSB 接続口に、付属の microUSB ケーブルを差し込みます。

ヒント：長さの違うケーブルが 2 本付属していますので、配線に必要な長さのケーブルをお選びください。長いほうのケーブル(4 m)は天井裏やピラー内部等に配線することで、運転等の邪魔にならないよう隠すことができます。

注意：以下のイメージにある microUSB ケーブルは、実際にデバイスに差し込む際の向きとは異なる場合があります。



- 7 付属のデュアルポートシガーアダプターに microUSB ケーブルを接続して、車の電源に接続します。



- 8 車のエンジンを始動すると、自動でデバイスの電源がオンになります。初めてデバイスを起動した場合は、初期設定を行います。

参照 5 ページ [フロントカメラの初期設定を行う](#)

リアカメラを取り付ける

注意

マウントブラケットの粘着テープは大変強力なため、一度貼り付けると簡単に剥がすことができませんので、マウントの取り付け位置に問題がないかをよくご確認の上で取り付けてください。

マウントブラケットの粘着テープは、気温が 21°C～38°C の環境下で貼り付けてください。

取り付け後は、粘着テープの粘着力が弱まっていないか定期的に確認してください。

リアカメラ (Garmin Dash Cam Mini 2) は、Garmin Drive アプリに接続することで時刻が補正され、正確な時刻で映像を記録します。正確な記録映像を残すため、デバイスを取り付け後すぐにアプリとペアリング (6 ページ [Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする](#)) し、ペアリング後はデバイスを定期的にアプリに接続してください。

- 1 柔らかい布等に水またはアルコールを少量付け、リアガラスに付着した埃や油分などの汚れ、ワックス、コーティング剤などをきれいに拭き取ります。
- 2 マウントブラケット上部の平らな面をリアガラスに合わせながら取り付け位置を確認します。
- 3 マウントブラケットの粘着テープの保護フィルムを剥がします。



- 4 マウントブラケットをリアガラスに貼り付けます。



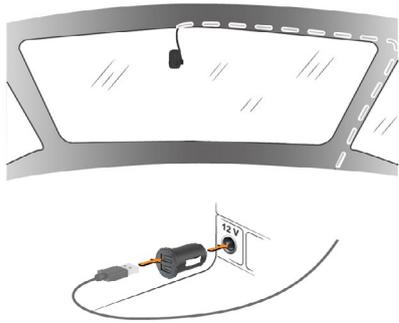
- 5 約 30 秒間、マウントブラケットを押さえながら固定します。
- 6 デバイスの microUSB 接続口に付属の microUSB ケーブルを差し込みます。

注意：以下のイメージにある microUSB ケーブルは、実際にデバイスに差し込む際の向きとは異なる場合があります。

メインページ



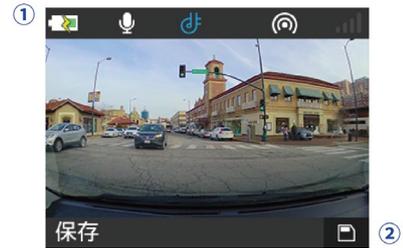
- 7 microUSB ケーブルを天井裏やピラー内部等に配線します。
- 8 付属のデュアルポートシガーアダプターに microUSB ケーブルを接続して、車の電源に接続します。



- 9 車のエンジンを始動すると、自動でデバイスの電源がオンになります。

フロントカメラの初期設定を行う

- 1 デバイスの電源をオンにします。
ヒント：デバイスが車の電源に正常に接続されている場合は、エンジンの始動に伴い自動でデバイスの電源がオンになります。
- 2 使用する国を選択します。(例：[日本])
- 3 警告画面が表示されたら、内容を確認して▶を押します。
- 4 デバイスの取り付け位置を[左] [中央] [右]から選択します。
- 5 車高を[高]または[標準]から選択します。
- 6 音声録音設定を[オン]または[オフ]から選択します。
- 7 Garmin Drive アプリの説明が表示されたら、▶を押します。
- 8 初期設定が完了するとメインページが表示され、自動で録画が開始します。
注意：初期設定完了後は、デバイスの電源を落とす前に GPS を受信してください。GPS を受信することで、初期設定がデバイスに保存されます。



ステータスアイコン	
①	電源接続中 / バッテリー残量 (内蔵バッテリー稼働時)
	音声録音設定オン / オフ
	リモートライブビュー表示中
	Garmin Drive アプリ接続中
	マルチカメラネットワーク有効 (3 台以上は接続台数を数字で表示)
①	Wi-Fi 接続中 / Vault にアップロード中
	既存の Wi-Fi ネットワークを検索中
	ブロードキャスト中 (スマートフォンと Wi-Fi 接続)
	Travelapse 録画中
	microSD カードエラー
	GPS 受信中 / GPS 受信完了
②	押す：映像・静止画を保存

メインページで **へ** または **∨** を押すと、デバイスメニューを表示できます。

- 写真の選択
[参照 14 ページ 映像 / 静止画を再生する](#)
- Travelapse
[参照 12 ページ Travelapse](#)
- ボイスコマンド
[参照 19 ページ ボイスコマンド](#)
- パーキングガード
[参照 12 ページ パーキングガード](#)
- Garmin Drive アプリ
[参照 6 ページ Garmin Drive アプリ](#)
- 設定
[参照 21 ページ 設定](#)

Garmin Drive アプリ

Garmin Drive アプリを利用する前に、あらかじめ次のことを準備してください。

- スマートフォンなどのモバイル端末の設定で、Wi-Fi 設定と Bluetooth 設定をオンにする
- デバイスに microSD カードを挿入し、電源に接続して電源をオンにする

Garmin Drive アプリ

Garmin Drive アプリは、スマートフォンなどのモバイル端末でデバイスで記録した映像や静止画を確認・編集・ダウンロードしたり、デバイスの録画中の操作や各種設定変更ができる専用アプリです。また、アプリで複数台のデバイスを同じスマートフォンにペアリングすると、2つのデバイスの映像を同時に確認できる映像（ピクチャーインピクチャー）を出力することができます。*

参照 16 ページ [Garmin Drive アプリでピクチャーインピクチャーの映像を作成してスマートフォンに保存する](#)

* Garmin Drive アプリで複数台のデバイスの映像を1つの映像に出力するには、映像が同時刻に録画されている必要があります。また、同時刻に録画された映像であっても、ファイルの種類が異なる（例：一方のデバイスでは保護ファイルとして保存されている、もう一方のデバイスでは常時録画データとして保存されている）場合は、1つの映像に出力できません。

Vault を利用して、デバイスで記録した映像や静止画を安全なオンラインストレージドライブに自動アップロードし、管理・共有することもできます。

参照 10 ページ [Vault ストレージ](#)

2 段階認証

初めて Garmin Drive アプリにサインインするときに、2段階認証で使用する電話番号やメールアドレスを登録してください。サインイン中の Garmin Drive アプリ以外から Garmin Drive アカウントにアクセスする際は、2段階認証プロセスでサインインする必要があります。2段階認証について、詳しくは[こちら](#)をご参照ください。

マルチカメラネットワーク

Garmin Drive アプリで複数台のデバイスを同一のスマートフォンにペアリングすることで、マルチカメラネットワークが構成され、デバイスが Bluetooth で連携します。マルチカメラネットワークは最大4台のデバイスで構成することができます。マルチカメラネットワークのデバイスは、映像の保護録画（静止画の保存）が連動します。また、同一ネットワーク内に GPS の位置情報が取得可能なデバイスがあれば、他のデバイスで同時刻に録画した位置情報を持たない映像にも、自動で位置情報が付与されます。

Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする

ヒント：ペアリングの手順と操作方法は、お使いのスマートフォンなどのモバイル端末の OS やバージョン、Garmin Drive アプリやデバイスのバージョンなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

フロントカメラをペアリングする

- 1 スマートフォンを操作します。

お使いのスマートフォンなどのモバイル端末に対応するアプリストアで、Garmin Drive アプリをインストールします。

[iOS® デバイス]



[Android™ デバイス]



アプリ動作要件 iOS® 13.0 以降 / Android™ 6.0 以降（2021/6 現在）

注意：アプリの動作要件は、アプリのバージョンアップに伴い変更される場合があります。最新バージョンの動作要件は、お使いのスマートフォンなどのモバイル端末に対応するアプリストアでご確認ください。

- 2 Garmin Drive アプリ を起動し、プライバシーポリシーと使用許諾契約を確認・同意の上 **[次へ]** を選択します。
- 3 Garmin Drive アプリ の画面の警告の内容を確認の上、**[承諾]** を選択します。
- 4 Garmin Drive アプリ の **[デバイスの選択]** 画面で、**[Garmin Dash Cam シリーズ]** を選択します。デバイスの検索が開始します。
- 5 デバイス（フロントカメラ）を操作します。メインページで **へ** または **∨** を押し、デバイスのメニューを表示します。メニューをスクロールして、**[Garmin Drive アプリ]** を選択し、**▶** を押しします。
- 6 次の画面で **▶ [今すぐ接続]** を押しします。デバイス（フロントカメラ）で Garmin Drive アプリの検索が開始します。
- 7 スマートフォンを操作します。ペアリング可能なデバイス（フロントカメラ）が見つかったら、**[ペアリング]** を選択します。
- 8 **[アクセサリを選択する]** を選択し、リスト内のデバイス名を選択します。デバイス（フロントカメラ）とスマートフォンのペアリングが開始します。（1分程度かかる場合があります。）
- 9 Garmin アカウントを作成またはサインインします。
- 10 2段階認証を求められたら、設定またはセキュリティコードを入力します。

参照 6 ページ 2 段階認証

- Garmin Drive アプリの画面で、**【個人データについて】**の内容を確認の上、**【続行】**を選択します。
- Vault ストレージを利用する場合は、**【Vault を有効にする】**を選択します。
- 接続する Wi-Fi ネットワークを選択し、画面に表示される指示に従って操作します。
- ペアリングが完了すると、デバイス(フロントカメラ)の画面には**【接続中】**と表示されます。(を押して、前の画面に戻ることができます。)スマートフォンの画面には、Garmin Drive アプリのダッシュボードが表示されます。



リアカメラ(または 2 台目以降のカメラ)をペアリングする

次の手順は、リアカメラ(Garmin Dash Cam Mini 2)を 2 台目以降のデバイスとして Garmin Drive アプリに追加する方法を示しています。

- スマートフォンを操作します。
Garmin Drive アプリのダッシュボードで、**【別のデバイスを追加】**を選択します。
- Garmin Drive アプリの**【デバイスの選択】**画面で、**【Garmin Dash Cam シリーズ】**を選択します。
デバイスの検索が開始します。
- デバイス(リアカメラ)を操作します。
を長押しして、デバイスを Bluetooth ペアリングモードにします。(ステータス LED ランプが青点滅)
- スマートフォンを操作します。
ペアリング可能なデバイス(リアカメラ)が見つかったら、**【ペアリング】**を選択します。
- 【アクセサリを選択する】**を選択し、リスト内のデバイス名を選択します。
デバイス(リアカメラ)とスマートフォンのペアリングが開始します。(1 分程度かかる場合があります。)
- Garmin アカウントにサインインします。
- 2 段階認証を求められたら、設定またはセキュリ

ティークードを入力します。

参照 6 ページ 2 段階認証

- Garmin Drive アプリの画面で、**【個人データについて】**の内容を確認の上、**【続行】**を選択します。
- Vault ストレージを利用する場合は、**【Vault を有効にする】**を選択します。
- 接続する Wi-Fi ネットワークを選択し、画面に表示される指示に従って操作します。
- ペアリングが完了すると、デバイス(リアカメラ)は録画を再開します。(ステータス LED ランプが赤点灯)
スマートフォンの画面には、Garmin Drive アプリのダッシュボードが表示されます。

Garmin Drive アプリで映像 / 静止画を再生・保存する

参照

- 15 ページ Garmin Drive アプリで映像 / 静止画を再生する
- 15 ページ Garmin Drive アプリで映像をスマートフォンに保存する
- 17 ページ Garmin Drive アプリで静止画をスマートフォンに保存する

Garmin Drive アプリで映像 / 静止画を削除する

- 映像または静止画が保存されている microSD カードがデバイスに挿入されていることを確認して、デバイスの電源をオンにします。
- スマートフォンを操作します。
スマートフォンの Wi-Fi 設定と Bluetooth 設定がオンになっていることを確認します。
- Garmin Drive アプリを起動します。
アプリのダッシュボードが表示されます。



- ダッシュボードの**【ビデオと写真】**を選択します。
- デバイスへの接続を確認するメッセージが表示されたら、**【接続】**を選択します。

6 映像と静止画の一覧が表示されます。



- 7 ① **[選択]** をタップします。
- 8 削除する映像または静止画のサムネイルを選択します。
- 9  をタップして削除します。

Wi-Fi に接続する

注意

パブリックネットワークまたはセキュリティで保護されていないネットワークに接続すると、ビデオおよびオーディオデータが他の人に公開される可能性があります。セキュリティで保護されていないネットワークに接続する場合は注意が必要です。

既存の Wi-Fi を使用してカメラを制御するには、接続されたデバイスが相互に認識および通信できるようにネットワークを設定する必要があります。

カメラを Wi-Fi に接続するには、Garmin Drive アプリから設定します。モバイルホットスポット、ホームネットワーク、またはビジネスネットワークが利用できます。

Wi-Fi 接続中に事故などの衝撃を検知し動画が保存されると、自動的に Vault にアップロードされます。Garmin Drive アプリを使用してリモートでカメラに接続し、ライブビューを表示することもできます。

参照 8 ページ *Garmin Drive アプリでライブビューを表示する*

- 1 デバイスを Garmin Drive アプリに接続します。
参照 6 ページ *Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする*
- 2 Garmin Drive アプリのダッシュボードで  を選択し、デバイス名を選択します。
- 3 **[Wi-Fi 接続]** を選択します。
近くの Wi-Fi アクセスポイントのリストが表示されます。
- 4 接続する Wi-Fi ネットワークを選択し、パスワード

を入力します。

デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されます。

接続したネットワーク情報はデバイスに保存され、次にカメラの電源がオンになったときに自動的にネットワークを検出して接続します。

Garmin Drive アプリでカメラの設定を行う

参照 23 ページ *Garmin Drive アプリでの設定*

Garmin Drive アプリでライブビューを表示する

スマートフォンの画面にカメラのライブ映像を表示します。

ライブビュー(ブロードキャスト)

スマートフォンをデバイスの Wi-Fi ネットワークにダイレクトに接続することで、カメラのライブ映像を表示することができます。スマートフォンの画面で映像を確認しながらカメラの位置を調整するときなどに便利です。

注意: ライブビュー表示中は、録画が停止します。

* 以下に示す操作方法や画面の表示は、お使いのスマートフォンなどのモバイル端末の OS やバージョン、Garmin Drive アプリやデバイスのバージョンなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 1 Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングします。
参照 6 ページ *Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする*
- 2 スマートフォンで Wi-Fi 設定がオンになっていることを確認します。
- 3 Garmin Drive アプリ  を起動します。アプリのダッシュボードが表示されます。



- 4 スマートフォンをデバイスから 9m (30 feet) 以内に近づけます。
- 5 **[ライブビュー]** を選択します。
- 6 マルチカメラネットワークが有効になっている場合は、映像を確認したいカメラを選択します。
- 7 メッセージを確認して、**[接続]** を選択します。



- 8 スマートフォンの画面にカメラのライブ映像が表示されます。



- 5 **[ライブビュー]** を選択します。
- 6 マルチカメラネットワークが有効になっている場合は、映像を確認したいカメラを選択します。
- 7 スマートフォンの画面にカメラのライブ映像が表示されます。

リモートライブビュー

デバイスに電源が供給され、Wi-Fi 接続中かつ Vault のアクセスが有効で、パーキングガードでモニタリング中の場合は、カメラのライブ映像を遠隔から確認することができます。

リモートライブビューを利用することで、パーキングガードで衝撃を検知したときに車両の状況をすぐに確認することができます。

ヒント：ライブビュー映像をリモートで表示する際は、大量のデータ通信が行われます。デバイス、スマートフォンともに安定したネットワークに接続してください。

参照

- 8 ページ [Wi-Fi に接続する](#)
- 10 ページ [Vault のアクセスを有効 / 無効にする](#)
- 12 ページ [パーキングガード](#)
- 26 ページ [コンスタントパワーケーブル\(別売\)](#)
- 27 ページ [パーキングモードケーブル\(別売\)](#)

* 以下に示す操作方法や画面の表示は、お使いのスマートフォンなどのモバイル端末の OS やバージョン、Garmin Drive アプリやデバイスのバージョンなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 1 Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングします。
参照 6 ページ [Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする](#)
- 2 デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続され、外部から給電された状態でパーキングガードを開始します。
- 3 デバイスとペアリング済みのスマートフォンで安定したインターネット接続が利用可能なことを確認します。
- 4 デバイスとペアリング済みのスマートフォンで、Garmin Drive アプリ  を起動します。アプリのダッシュボードが表示されます。

パーキングガード中の衝撃検知通知

デバイスに電源が供給され、Wi-Fi 接続中かつ Vault のアクセスが有効で、パーキングガードでモニタリング中の場合は、衝撃を検知したときにペアリング済みスマートフォンの Garmin Drive アプリに通知されます。

注意：通知を受け取るには、スマートフォンの設定で Garmin Drive アプリの通知を許可する必要があります。

Vault ストレージ

Vault は、Garmin が提供する安全なオンラインストレージドライブです。デバイスが Wi-Fi に接続されている場合、手動保護ファイル、駐車録画ビデオ、事故検出による自動保護ファイルが自動アップロードされ、管理・共有することができます。

Vault ストレージの動画保存期間は 24 時間です。Garmin Drive アプリからオプションの Vault サブスクリプションプランを購入して、保存期間を延長することも可能です。

注意：Vault ストレージにデータをアップロードするには、デバイスが Wi-Fi ネットワークに接続されている必要があります。

ヒント：Vault ストレージの動画再生やダウンロードでは、大量のデータ通信が行われます。スマートフォンは安定したネットワークに接続してください。

Vault のアクセスを有効 / 無効にする

- 1 Garmin Drive アプリのダッシュボードで、 を選択します。
- 2 **[Vault のアクセス]** を選択します。
- 3 デバイス名の横にあるスイッチをオン / オフします。
ヒント：初めて Vault のアクセスを有効にするときは、**[Vault を有効にする]** を選択します。

映像を再生する

Vault ストレージに保存された映像を再生します。

- 1 Garmin Drive アプリのダッシュボードで **[Vault]** を選択します。
- 2 映像を選択し、▶ を選択します。

映像を共有する

録画した映像にアクセスするための安全なリンクを共有できます。

- 1 Garmin Drive アプリのダッシュボードで **[Vault]** を選択します。
- 2 映像を選択し、**[安全な共有]** を選択します。
- 3 画面に表示される指示に従って操作します。

ヒント：共有されたリンクにアクセスしてパスコードを入力すると、映像の再生とダウンロードができます。

映像の共有リンクを無効にする

共有した映像へのリンクを無効にすることができます。共有リンクを無効にすると、映像はプライベートに設定され、共有リンクとパスコードは無効になります。

- 1 Garmin Drive アプリのダッシュボードで **[Vault]** を選択します。
- 2 映像を選択し、**[リンクを無効にする]** > **[続行]** の

順に選択します。

Vault ストレージから映像を削除する

- 1 Garmin Drive アプリのダッシュボードで **[Vault]** を選択します。
- 2 映像を選択し、**[Vault から削除]** > **[続行]** の順に選択します。

サブスクリプションプランを購入する

Vault サブスクリプションプランを購入して、保存期間を延長することができます。

- 1 Garmin Drive アプリのダッシュボードで  を選択します。
- 2 **[Vault のアクセス]** を選択します。
- 3 **[さらに時間が必要ですか?]** を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従って操作します。

録画

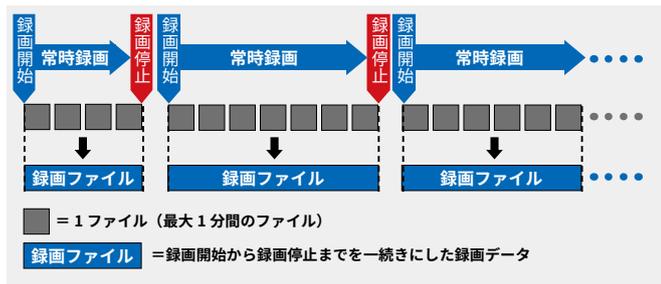
録画について

デバイスは、エンジン始動時(電源オン)からエンジン停止時(電源オフ)*¹ までの映像と音声*² を常時録画します。常時録画データは、1ファイルあたり最大1分間のMP4ファイルとして microSD カードに記録されます。

フロントカメラまたは Garmin Drive アプリでは、録画開始から録画停止までのファイルを一続きの映像として確認することができます。初期設定([ストレージがいっぱいになったら削除])では、microSD カードの容量がいっぱいになると、保護ファイル以外の古いファイルから順に上書きされます。*³ 設定は Garmin Drive アプリから変更できます。

参照 23 ページ *Garmin Drive アプリでの設定*

- *¹ デバイスの電源がオンであっても、一部メニュー操作時や Wi-Fi 接続中などに録画を停止することがあります。
- *² 音声録音設定がオンの場合に音声を記録します。
- *³ 常時録画データ、Travelapse 録画データ、パーキングガード録画データの順に古いファイルから上書きされますが、microSD カードの容量や記録されているファイルの数により、各データが上書きされる条件が異なります。



映像の保護について

注意

microSD カードに保護ファイルが多く保存されていると、常時録画やその他の録画モードのための容量を十分に確保できなくなります。必要な録画データは PC やスマートフォン、外部ストレージに移すなどして空き容量を増やしてください。

G センサーが衝撃を検知した際に、衝撃発生前後の映像を自動で保護して microSD カードに保存します。また、任意の時点で映像を手動で保護することもできます。

フロントカメラとリアカメラの Bluetooth 連携* により、一方のデバイスで映像が保護されると、もう一方のデバイスの映像も同時に保護されます。

* フロントカメラとリアカメラを Bluetooth 連携させるには、あらかじめ Garmin Drive アプリでフロントカメラとリアカメラを同一のスマートフォンにペアリングして、マルチカメラネットワーク(6 ページ *マルチカメラネットワーク*)を構成する必要があります。ペアリング以降、フロントカメラとリアカメラの保護が連動します。

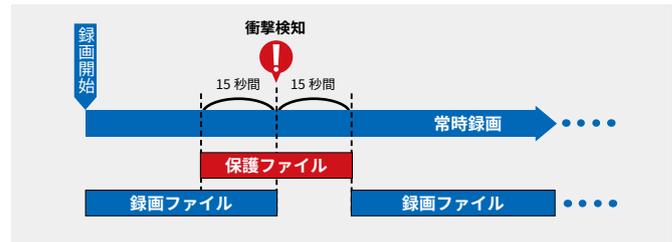
映像の自動保護

注意

G センサーの衝撃検知による映像の自動保護は、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。

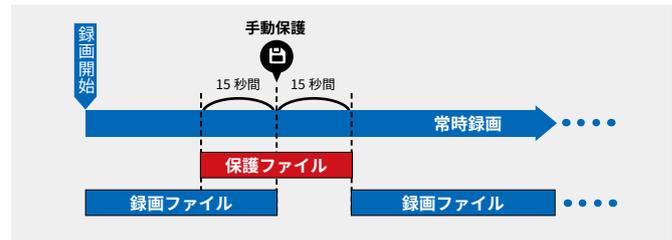
衝撃の度合いによっては、自動保護が作動しない場合があります。事故等の発生時には、録画データが上書きされる前に録画を停止し、必要なデータを保存してください。

事故発生時などに G センサーが衝撃を検知すると、検知前 15 秒間、検知後 15 秒間の録画データが自動保護されます。衝撃検知後の自動保護継続中に再度衝撃を検知すると、さらに 15 秒間延長して保護されます。(最長 1 分間の映像を保護)



映像の手動保護

映像を手動で保護すると、手動保護操作をした時点から前後 15 秒間の録画データが保護されます。保護録画中に再度手動保護の操作を行うと、さらに 15 秒間延長して保護します。(最長 1 分間の映像を保護)



映像を手動で保護する

- 1 デバイスで映像を録画中に、次の操作を行います。
 - ・【フロントカメラ】メインページで  を押す
 - ・【リアカメラ】  を押す映像と静止画が同時に保存されます。
- 2 ステータス LED ランプが赤点滅して、映像が保護されます。

映像の音声録音を設定する

【フロントカメラ】

- 1 メインページで  または  を押し、デバイスのメニューを表示します。
  または  でメニューをスクロールして【設定】を選択し、 を押します。
- 2 【カメラ】を選択して  を押します。
- 3 【録音する】を選択します。

▶を押して音声録音のオン / オフ を設定します。

【リアカメラ】

1 を押します。

音声録音がオンになるとマイクステータス LED ランプが赤点灯します。オフにするには、再度 を押します。(マイクステータス LED ランプが消灯します。)

静止画を保存する

- 1 デバイスで映像を録画中に、次の操作を行います。
 - ・【フロントカメラ】メインページで を押す
 - ・【リアカメラ】 を押す静止画と映像が同時に保存されます。
- 2 ステータス LED ランプが赤点滅して、静止画が保存されます。

Travelapse

注意：

- Travelapse は、フロントカメラのみ対応しています。
- Travelapse 機能を有効にするには、Garmin Drive アプリの設定 > 【録画ファイル】で、【ストレージがいっぱいになったら削除】を選択してください。

参照 23 ページ *Garmin Drive アプリでの設定*

Travelapse とは走行中の映像をコマ落としで撮影する機能です。長距離にわたる走行でも、各シーンを一つの映像に収めたショートビデオで記録できます。Travelapse 録画中でも、常時録画は停止しません。

Travelapse 映像を録画する

Travelapse 映像を録画開始 / 録画停止します。

- 1 Travelapse 録画を開始します。
メインページで  または  を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして【Travelapse】を選択し、を押します。
- 3 次の画面で 【開始】を押します。
メッセージが表示され、Travelapse 録画が開始します。
- 4 Travelapse 録画を停止します。
メインページで  または  を押し、メニューを表示します。
- 5 メニューをスクロールして【Travelapse】を選択し、を押します。
- 6 次の画面で 【停止】を押します。
メッセージが表示され、Travelapse 録画が停止してデータが保存されます。

ヒント：Travelapse 録画中にデバイスの電源をオフにすると、次回電源をオンにした際に Travelapse 録画の再開を確認するメッセージが表示されます。【再開】を選択すると

Travelapse 録画を再開し、【停止】を選択すると Travelapse 録画を停止してデータが保存されます。

パーキングガード

注意

microSD カードにパーキングガードの録画データが多く保存されていると、常時録画データのための容量を十分に確保できなくなります。必要な録画データは PC やスマートフォン、外部ストレージに移すなどして空き容量を増やしてください。

駐車中または走行停止中に衝撃を検知して映像を記録します。パーキングガードの機能を十分に利用するには、デバイス外部から電源が供給されている必要があります。

参照

3 ページ フロントカメラを取り付ける

4 ページ リアカメラを取り付ける

26 ページ コンスタントパワーケーブル(別売)

27 ページ パーキングモードケーブル(別売)

次のいずれかの条件のとき、パーキングガードが開始します。

- 常時録画中に車両の走行を停止(アイドリング中を含む)して、パーキングガード設定の【自動スタート】オプションの設定時間が経過するとパーキングガードが開始します。(コンスタントパワーケーブル(別売)または microUSB ケーブルで接続している場合)
- パーキングモードケーブル(別売)で接続している場合、車両のエンジンをオフにするとパーキングガードが開始します。
- パーキングガード設定の【バッテリー駆動】がオンのとき、常時録画中に外部電源からの供給を切断するとパーキングガードが開始します。(フロントカメラのみ)
- 常時録画中に  を 3 秒間長押しすると、パーキングガードを手動で開始できます。(フロントカメラのみ)

ヒント：パーキングガード開始前のカウントダウン表示中に  を押し、パーキングガードの開始をキャンセルしてデバイスをシャットダウンできます。

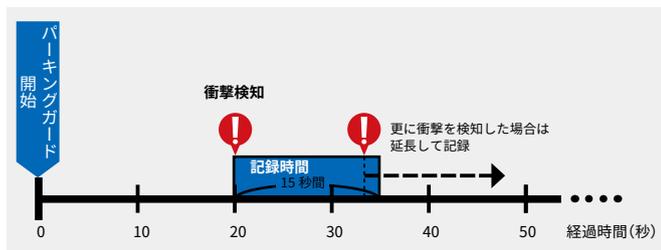
注意：デバイスに Vault ストレージにアップロードしていない映像が保存されている場合、アップロードが完了してからパーキングガードに移行します。アップロード中は、常時録画が継続します。

パーキングガード中は、デバイス(フロントカメラ)の画面がオフになります。衝撃検知待機中(録画待機中)はステータス LED ランプがゆっくり赤点滅します。衝撃を検知して録画中はステータス LED ランプが赤点灯

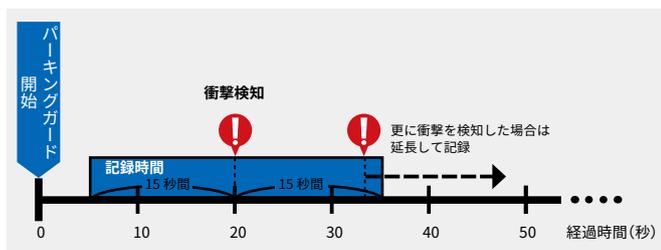
します。バッテリー駆動でパーキングガードが動作しているときは、LED ランプは衝撃を検知して録画中のみ点灯し、待機中は消灯します。

パーキングガード中に衝撃を検知すると、録画データを自動で保存します。衝撃検知後の録画中に再度衝撃を検知すると、さらにそこから時間を延長して録画します。衝撃検知前の映像を録画データに保存するには、パーキングガード設定の【事故発生前に記録】をオンにして外部から電源を供給する必要があります。

【事故発生前に記録】がオフのとき



【事故発生前に記録】がオンのとき



デバイスに電源が供給され、Wi-Fi に接続されている場合、衝撃を検知するとスマートフォンに通知され、Garmin Drive アプリでカメラのライブ映像を確認することができます。

参照

9 ページ リモートライブビュー

9 ページ パーキングガード中の衝撃検知通知

次のいずれかの条件のとき、パーキングガードが終了します。

- パーキングガード中に運転を再開するなどして車両の動きを検知すると、パーキングガードから自動で通常の常時録画モードに移行します。(コンスタントパワーケーブル(別売)または microUSB ケーブルで接続している場合、またはバッテリー駆動の場合)

注意：パーキングガード作動中にデバイスに触れたり、振動や動きが検知されると、予期せず常時録画モードに移行してしまう場合があります。

- コンスタントパワーケーブル(別売)またはパーキングモードケーブル(別売)で接続中に車両の電圧が規定値*に達したとき、自動でパーキングガードが終了してデバイスの電源がオフになります。

* コンスタントパワーケーブル(別売)を使用している場合は 12V を 10 分間継続、パーキングモードケーブル(別売)を使用している場合は 11.7V。

- パーキングガード設定の【監視時間】オプションの

設定時間が経過したとき、自動でパーキングガードが終了してデバイスの電源がオフになります。

- コンスタントパワーケーブル(別売)で接続している場合、タイマースイッチの設定時間が経過すると、電源供給がオフになりパーキングガードが終了します。

ヒント：パーキングガードの自動終了条件は、車両電圧による条件が優先されます。

- バッテリー駆動の場合、バッテリーがなくなるまでパーキングガードが動作します。(フロントカメラのみ)

パーキングガードで録画データが保存されると、次の起動時にメッセージが表示され、録画した映像が確認できます。(フロントカメラのみ)

パーキングガードを設定する(フロントカメラ)

- メインページで \wedge または \vee を押し、メニューを表示します。
- メニューをスクロールして【パーキングガード】を選択し、 \blacktriangleright を押します。
- 次の画面で \blacktriangleright 【設定】を押します。
- 次のオプションを選択して設定します。

【有効】

\blacktriangleright を押してパーキングガードのオン / オフ を設定します。

【自動スタート】

パーキングガードはアイドリング中など、車両が走行を停止した時も作動します。作動開始時間を走行停止後の【3分】【5分】【10分】から選択します。

ヒント：このオプションは、パーキングモードケーブル(別売)を使用している場合は選択できません。

【監視時間】

パーキングガードの継続時間を【2時間】【4時間】【8時間】【12時間】【24時間】【常時オン】から選択します。

【バッテリー駆動】

デバイスを外部電源に接続していない場合に、デバイスのバッテリーを使用してパーキングガードを作動させるか選択します。

注意：バッテリー駆動でパーキングガード作動中にデバイスに触れたり、振動や動きが検知されると、予期せず常時録画モードに移行してしまう場合があります。

ヒント：このオプションは、パーキングモードケーブル(別売)を使用している場合は選択できません。

【事故発生前に記録】

事故検知 15 秒前からの録画データの保存のオン / オフ を設定します。このオプションを有効にして外部から電源を供給している場合のみ、パーキングガード中の事故検知前の映像が記録されます。

パーキングガードを設定する(リアカメラ)

注意：Dash Cam Mini 2 でパーキングガードを有効にするには、デバイスに電源が供給されている必要があります。

参照

- 4 ページ リアカメラを取り付ける
- 26 ページ コンスタントパワーケーブル(別売)
- 27 ページ パーキングモードケーブル(別売)

リアカメラ(Garmin Dash Cam Mini 2)のパーキングガード設定は、Garmin Drive アプリで行います。あらかじめデバイスとスマートフォンなどのモバイル端末を Garmin Drive アプリでペアリングする必要があります。

参照 6 ページ Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする

- 1 デバイス(リアカメラ)に microSD カードを挿入し、電源に接続して電源をオンにします。
- 2 スマートフォンを操作します。
Garmin Drive アプリ  を起動します。
- 3 Garmin Drive アプリ  のダッシュボードで、 を選択します。
- 4 **[DC Mini 2]** を選択します。
- 5 **[パーキングガード]** を選択します。
- 6 次のオプションを選択して設定します。

【有効】

スイッチの**オン / オフ**でパーキングガードの有効 / 無効を設定します。

【自動スタート】

パーキングガードはアイドリング中など、車両が走行を停止した時も作動します。作動開始時間を走行停止後の**[3分][5分][10分]**から選択します。

ヒント：このオプションは、パーキングモードケーブル(別売)を使用している場合は選択できません。

【衝撃感度】

パーキングガード中の衝撃検知の感度を**【低感度】【中感度】【高感度】**から選択します。

【監視時間】

パーキングガードの継続時間を**[2時間][4時間][8時間][12時間][24時間][常時オン]**から選択します。

【事故発生前に記録】

スイッチの**オン / オフ**で事故検知 15 秒前からの録画データの保存の有効 / 無効を設定します。このオプションを有効にして外部から電源を供給している場合のみ、パーキングガード中の事故検知前の映像が記録されます。

再生

映像 / 静止画を再生する

注意：

- デバイスでの映像、静止画の再生は、フロントカメラのみ対応しています。
- 映像または静止画を表示中は、録画が停止します。

- 1 メインページで  または  を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして**[写真の選択]**を選択し、 を押します。
- 3 映像または静止画の再生メニューを表示中は、録画が停止します。画面のメッセージを確認して  **[OK]** を押します。
- 4 再生する映像 / 静止画のカテゴリを選択します。

【手動保護ファイル】	手動保護した録画データと、G センサーによる衝撃検知時に自動保護された録画データ
【駐車録画ビデオ】	パーキングガードの録画データ
【静止画】	静止画
【Travelapse】	Travelapse の録画データ
【録画ファイル】	常時録画データの録画データ

- 5 ファイル一覧から再生するファイルを選択します。
- 6 映像または静止画が再生されます。

映像再生の操作

	前の画面に戻る
	押す：再生速度調整(巻き戻し) 長押し：巻き戻し
	押す：再生速度調整(早送り) 長押し：早送り
	一時停止してオプションを表示 【再開】 ：映像の再生を再開します。 【保存】 ：映像を保護ファイルとして保存します。 (このオプションは【録画ファイル】内のファイルのみ表示されます。) 【音量】 ：映像の再生音量を調整します。 【削除】 ：ファイルを削除します。

静止画再生の操作

	前の画面に戻る
	押す：次のファイルを再生
	押す：前のファイルを再生
	ファイルを削除

録画ファイルをトリミングして保存する

- 1 保存する録画ファイルを再生します。
- 2 トリミングする箇所まで映像を再生します。
- 3  を押して一時停止します。

4 オプションから【保存】を選択します。

選択したポイントの前後 15 秒間を含む 30 秒の映像が【手動保護ファイル】内に保存されます。

PC で映像 / 静止画を再生する

デバイスに microSD カードを挿入して、microUSB ケーブル(1.5 m)* で PC に接続します。または、市販の microSD カードリーダーを使用して、microSD カードを PC で読み込みます。

* 車両に接続してデバイスに電源を供給するためのケーブルは、PC に接続してデータを確認するためには使用できません。

映像または静止画は、microSD カードの【DCIM】フォルダ内の各フォルダに保存されています。

[DCIM]	[100EVENT]	G センサーによる衝撃検知時に自動保護された録画データが保存されます。
	[101PHOTO]	静止画が保存されます。
	[102SAVED]	手動保護した録画データが保存されます。
	[103PARKM]	パーキングガ드의録画データが保存されます。
	[104TLPSE]	Travelapse の録画データが保存されます。
	[105UNSVCD]	常時録画データの録画データが保存されます。

PC で映像を再生するには、MP4 形式に対応するメディアプレーヤー等を使用してください。

静止画を再生するには、JPEG 形式に対応するフォトビューアー等を使用してください。

Garmin Drive アプリで映像 / 静止画を再生する

注意： Garmin Drive アプリでデバイスの映像または静止画を表示中は、録画が停止します。

Garmin Drive アプリで映像または静止画を再生するには、あらかじめデバイスとスマートフォンなどのモバイル端末を Garmin Drive アプリでペアリングする必要があります。

参照 6 ページ [Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする](#)

* 以下に示す操作方法や画面の表示は、お使いのスマートフォンなどのモバイル端末の OS やバージョン、Garmin Drive アプリやデバイスのバージョンなどにより異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- 映像または静止画が保存されている microSD カードがデバイスに挿入されていることを確認して、デバイスの電源をオンにします。
- スマートフォンを操作します。
スマートフォンの Wi-Fi 設定と Bluetooth 設定がオンになっていることを確認します。
- Garmin Drive アプリ  を起動します。
アプリのダッシュボードが表示されます。



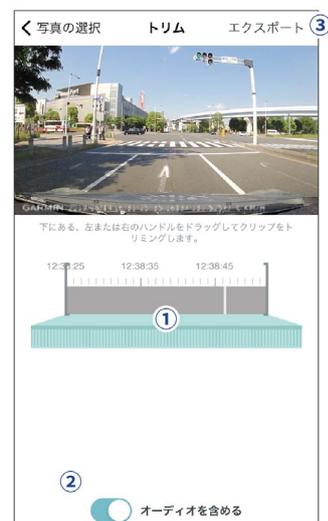
- ダッシュボードの【ビデオと写真】を選択します。
- デバイスへの接続を確認するメッセージが表示されたら、【接続】を選択します。
- 映像と静止画の一覧が表示されます。



- 再生する映像または静止画のサムネイルを選択します。
- 映像または静止画が再生されます。

Garmin Drive アプリで映像をスマートフォンに保存する

- Garmin Drive アプリ  でスマートフォンに保存する映像を再生します。
- 映像のトリミング範囲をハンドル①で調整します。
スイッチ②でオーディオのオン / オフを設定します。



- 3 ③ **[エクスポート]** を選択します。映像のエクスポートが開始します。
- 4 エクスポートが完了したら、**[スマートフォンに保存]** を選択します。映像がスマートフォンに保存されます。

ヒント：初回保存時に Garmin Drive アプリのスマートフォンへのデータアクセスを許可すると、以降はエクスポート完了後に自動で映像がスマートフォンに保存されます。



- 5 映像をデバイスから削除するには**[カメラから削除]** を選択します。

Garmin Drive アプリでピクチャーインピクチャーの映像を作成してスマートフォンに保存する

Garmin Drive アプリでフロントカメラの映像にリアカメラの映像を埋め込んだ映像(ピクチャーインピクチャー)*を作成してスマートフォンに保存します。

* Garmin Drive アプリでマルチカメラの映像を1つの映像に出力するには、映像が同時刻に録画されている必要があります。また、同時刻に録画された映像であっても、ファイルの種類が異なる(例：一方のデバイスでは保護ファイルとして録画されていて、もう一方のデバイスでは録画ファイル(常時録画データ)として録画されている)場合は、1つの映像に出力できません。

- 1 Garmin Drive アプリ でピクチャーインピクチャーを作成する映像を再生します。
ヒント：ピクチャーインピクチャーを作成できる映像のサムネイルには、マルチカメラアイコン が表示されます。
- 2 ① でフロントカメラとリアカメラの映像を切り替えます。
映像のトリミング範囲をハンドル②で調整します。
スイッチ③でオーディオのオン/オフを設定します。
④ で次の画面に進みます。



- 3 ピクチャーインピクチャーの表示位置を選択します。



- ⑤ でカメラ映像の表示のオン/オフを切り替えます。
- ⑥ のいずれかの水色枠を選択して、表示位置を決定します。
- 4 ⑦ **[エクスポート]** を選択して映像のエクスポートを開始します。完了すると、映像がスマートフォンに保存されます。
ヒント：初回保存時に Garmin Drive アプリのスマートフォンへのデータアクセスを許可すると、以降はエクスポート完了後に自動で映像がスマートフォンに保存されます。



- 5 映像をデバイスから削除するには【カメラから削除】を選択します。
終了するには【完了】を選択します。

Garmin Drive アプリで静止画をスマートフォンに保存する

- 1 Garmin Drive アプリ  でスマートフォンに保存する静止画を再生します。



- 2 静止画をスマートフォンに保存するには、【スマートフォンに保存】を選択します。
静止画をデバイスから削除するには、【カメラから削除】を選択します。
静止画を他のアプリ等に共有するには、【共有】を選択します。

安全運転支援機能

注意：安全運転支援機能は、フロントカメラのみ対応しています。

警告

安全運転支援の各機能の動作を確かめるための危険な運転は絶対に行わないでください。

取り付け位置を設定する

安全運転支援機能が正常に動作するためには、デバイスの取り付け位置を正しく設定する必要があります。

- 1 メインページで \wedge または \vee を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして【設定】を選択し、 \blacktriangleright を押します。
- 3 【安全運転支援】を選択して \blacktriangleright を押します。
- 4 【取り付け位置】を選択して \blacktriangleright を押します。
- 5 次のオプションを選択して設定します。
 - ・【取り付け位置】
デバイスの取り付け位置を【左】【中央】【右】から選択します。
 - ・【車高】 車高を【高】または【標準】から選択します。

前方衝突警告(FCWS)

警告

前方衝突警告(FCWS)は情報提供を目的とする機能であり、道路や運転の状況の確認、交通ルールの遵守、安全運転を行うための判断などをドライバーに代わって行うものではありません。

道路状況や天候、GPS の受信環境などの条件によっては正しく動作しない場合があります。本機能に依存せず安全な走行を行ってください。

前方衝突警告(FCWS)は、走行中に前方の車両を検知し、前方の車両と接近すると車間距離が適正に保たれるようアラートで警告する機能です。前方衝突警告は、走行速度が時速 50km/h を超えると自動的に起動します。

アラートと同時に画面表示が切り替わり、
衝突を警告します



前方衝突警告を設定する

- 1 メインページで \wedge または \vee を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして【設定】を選択し、 \blacktriangleright を

押します。

- 3 [安全運転支援] を選択して▶を押します。
- 4 [前方衝突警告] を選択して▶を押します。
- 5 前方衝突警告の感度を [高感度][中感度][低感度][オフ](前方衝突警告を無効にする)から選択します。

前方衝突警告に関するヒント

- 前方衝突警告は、車両の走行スピードが時速 50km 以上の場合に機能します。
- 降雨または降雪、霧、太陽光、ヘッドライトの反射、夜間などにより前方の視界が悪い場合、前方衝突警告が機能しない場合があります。
- 前方衝突警告は、前方の車両が 40m 以上離れている、または 5m 以内に接近していると、前方車両を検知できない場合があります。
- デバイスが車両に正しく取り付けられていないと、前方衝突警告が機能しない場合があります。
- デバイスの取り付け位置が正しく設定されていないと、前方衝突警告が機能しない場合があります。

車線逸脱警告(LDWS)

警告

車線逸脱警告(LDWS)は情報提供を目的とする機能であり、道路や運転の状況の確認、交通ルールの遵守、安全運転を行うための判断などをドライバーに代わって行うものではありません。

道路状況や天候、GPS の受信環境などの条件によっては正しく動作しない場合があります。本機能に依存せず安全な走行を行ってください。

車線逸脱警告(LDWS)は、道路上の車線(実線)を検知し、車両が車線を外れた際にアラートで警告する機能です。車線逸脱警告は、走行速度が時速 65km/h を超えると自動的に起動します。

アラートと同時に画面表示が切り替わり、
車線の逸脱を警告します



車線逸脱警告を設定する

- 1 メインページで ^ または v を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして [設定] を選択し、▶を押します。
- 3 [安全運転支援] を選択して▶を押します。

- 4 [車線逸脱警告] を選択します。

▶を押して車線逸脱警告のオン / オフ を設定します。

車線逸脱警告に関するヒント

- 車線逸脱警告は、車両の走行スピードが時速 65km 以上の場合に機能します。
- 降雨または降雪、霧、太陽光、ヘッドライトの反射、影、その他の障害物等で車線が遮られていると、車線逸脱警告が機能しない場合があります。
- 車線が途切れていたり、かすれていると車線を検知できない場合があります。
- 道路が極端に広い、狭いまたは曲がっている場合、車線逸脱警告が機能しない場合があります。
- デバイスが車両に正しく取り付けられていないと、車線逸脱警告が機能しない場合があります。
- デバイスの取り付け位置が正しく設定されていないと、車線逸脱警告が機能しない場合があります。

発進確認警告

発進確認警告は、自車の停止時に前方の車両が動き始めた際にアラートでお知らせする機能です。

アラートと同時に画面表示が切り替わり、
発進を促します



発進確認警告を設定する

- 1 メインページで ^ または v を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして [設定] を選択し、▶を押します。
- 3 [安全運転支援] を選択して▶を押します。
- 4 [発進確認警告] を選択します。
▶を押して発進確認警告のオン / オフ を設定します。

スピードカメラアラート

注意

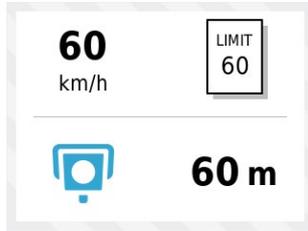
スピードカメラアラートは、GPS の受信環境によっては正しく動作しない場合があります。本機能に依存せず安全な走行を行ってください。

スピードカメラアラートは、移動式オービスや新設されたオービスなど、一部のオービスには対応していません。

ボイスコマンド

スピードカメラアラートは、オービス(自動速度違反取締装置)が接近するとアラートでお知らせする機能です。

アラートと同時に画面表示が切り替わり、
オービス接近を警告します



スピードカメラアラートのアラート音を設定する

- 1 メインページで **へ** または **∨** を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして **[設定]** を選択し、**▶** を押します。
- 3 **[安全運転支援]** を選択して **▶** を押します。
- 4 **[スピードカメラ]** を選択して **▶** を押します。
- 5 **[オーディオ]** を選択して **▶** を押します。

スピードカメラアラートのオーディオパターンを **[単一トーン]** **[連続トーン]** **[オフ]** (アラート音を消す) から選択します。

ボイスコマンドを設定する(フロントカメラ)

ボイスコマンドは初期設定でオンに設定されています。次の手順でボイスコマンドのオン/オフを設定します。

- 1 メインページで **へ** または **∨** を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして **[ボイスコマンド]** を選択し、**▶** を押します。
- 3 次の手順でボイスコマンドのオン/オフを設定します。
 - ・ボイスコマンドを無効にする(ボイスコマンドが有効の時)
▶[設定] > ▶[無効] の順に押します。
 - ・ボイスコマンドを有効にする(ボイスコマンドが無効の時)
▶[有効] を押します。

ボイスコマンドを設定する(リアカメラ)

リアカメラ(Garmin Dash Cam Mini 2)のボイスコマンド設定は、Garmin Drive アプリで行います。あらかじめデバイスとスマートフォンなどのモバイル端末をGarmin Drive アプリでペアリングする必要があります。

参照 6 ページ [Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする](#)

- 1 デバイス(リアカメラ)に microSD カードを挿入し、電源に接続して電源をオンにします。
- 2 スマートフォンを操作します。
Garmin Drive アプリ を起動します。
- 3 Garmin Drive アプリ のダッシュボードで、 を選択します。
- 4 **[DC Mini 2]** を選択します。
- 5 **[音声コマンド]** を選択します。
- 6 ボイスコマンドの設定を確認・変更します。

ボイスコマンドでデバイスを操作する

- 1 **「OK Garmin」** と発話して、ボイスコマンドリストを呼び出します。
- 2 操作するコマンドを発話します。
 - ・ **「ビデオを保存」** 録画中の映像を保護します。
 - ・ **「静止画を撮る」** 静止画を保存します。
 - ・ **「録音する」** 音声録音をオンにします。
 - ・ **「録音しない」** 音声録音をオフにします。
 - ・ **「トラベラプスを開始」** Travelapse 録画を開始します。
 - ・ **「トラベラプスを停止」** Travelapse 録画を停止します。
- 3 コマンドが認識されると、電子音が鳴ります。

ボイスコマンドに関するヒント

- ・ デバイスに向かって通常の音量ではっきりと発話してください。

- 周囲の雑音等により、コマンドが認識しにくい場合があります。
- コマンドのフレーズ以外の発話は認識しません。
また、フレーズの前に「あー」、「えーっと」等を発話すると、コマンドを認識しない場合があります。
- ボイスコマンドの起動ワードは、【ボイスコマンド】>【設定】>【起動ワード】（フロントカメラのみ）
または Garmin Drive アプリから変更できます。

[参照](#) 23 ページ *Garmin Drive* アプリでの設定

設定

本体での設定

メインページで **⌵** を押す > **【設定】** を選択 > 設定を確認・変更する項目を選択

注意： 本体での設定変更は、フロントカメラ (Garmin Dash Cam 47) のみ対応しています。リアカメラ (Garmin Dash Cam Mini 2) の設定は、Garmin Drive アプリで行います。 ([23 ページ](#) *Garmin Drive アプリでの設定*)

カメラ設定

解像度	1,080P (29fps、HDR)	カメラの解像度を設定します。	
	720P (29fps、HDR)		
事故検出	高感度	G センサーの衝撃検知による自動保護の有効 / 無効を設定します。	
	中感度		
	低感度		
	オフ		
録音する	<input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)	音声録音の有効 / 無効を設定します。	
タイムスタンプ設定	日時	<input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)	録画データと静止画にオーバーレイ表示するデータを設定します。
	位置	<input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)	
	スピード	<input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)	
露出値	-2 ~ +2	露出補正を設定します。	
SD フォーマット	microSD カードをフォーマットします。		

安全運転支援設定

取り付け位置	取り付け位置	【左】/【中央】/【右】	デバイスの取り付け位置を設定します。
	車高	【高】/【標準】	車高を設定します。
前方衝突警告	高感度		前方衝突警告の感度を設定します。 【オフ】 は前方衝突警告を無効に設定
	中感度		
	低感度		
	オフ		
発進確認警告	<input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)	発進確認警告の有効 / 無効を設定します。	
車線逸脱警告	<input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)	車線逸脱警告の有効 / 無効を設定します。	
スピードカメラ	オーディオ	【単一トーン】/【連続トーン】/【オフ】	スピードカメラアラートのオーディオパターンを設定します。
	アラート	カスタム POI <input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)	スピードカメラアラートのデータベースを設定します。(スピードカメラアラートを有効にするには、カスタム POI を必ず <input checked="" type="checkbox"/> (オン) に設定してください。)
	ファイル削除	スピードカメラアラートのデータファイルを削除します。(注意：ファイルを削除すると、スピードカメラアラートが作動しなくなります。)	
	更新	スピードカメラデータの更新方法を確認します。	

システム設定

法規	規制情報、法令遵守に関する情報を表示します。	
音量	0%～100% 操作音やアラート音の音量を設定します。	
輝度	自動明るさ調整	<input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ)
	0%～100% 画面の明るさを設定します。	
デザイン	昼間	メニュー画面の配色を設定します。
	夜間	
	自動	
液晶省電力モード	1分	1分間操作を行わなかった場合、画面をオフにします。
	オフ	
セットアップ	単位	[マイル]/[km] 距離の表示単位を設定します。
	時間	自動 <input checked="" type="checkbox"/> (オン) / <input type="checkbox"/> (オフ) GPSで時刻を自動で設定します。(オフの場合、手動で時刻を設定します。)
		時間表示 [12時間]/[24時間]/[UTC] 時刻の表示形式を設定します。
	言語	表示言語を設定します。
	リセット	設定を初期化します。
デバイス情報	バージョン情報を表示します。	

Garmin Drive アプリでの設定

Garmin Drive アプリ  のダッシュボードで  を選択 > デバイス名を選択

カメラ設定	ライブビュー	デバイスと Wi-Fi 接続してスマートフォンの画面にカメラのライブ映像を表示し、カメラの水平位置を確認します。
	カメラ名	カメラの名前を変更します。
Wi-Fi 接続	Wi-Fi 接続で使用するネットワークを登録します。	
Vault ストレージ	Vault ストレージプランを選択・確認します。	
画質	カメラの解像度を設定します。	
タイムスタンプ設定	録画データと静止画にオーバーレイ表示するデータを設定します。	
Travelapse (Dash Cam 47)	Travelapse 録画を開始 / 停止します。	
ミラーと 180 度回転 (Dash Cam Mini 2)	映像のミラー (左右反転) または 180 度回転 (上下反転) を設定します。	
事故検出	G センサーの衝撃検知の感度を設定します。	
露出値	露出補正を設定します。	
アラート音量 (Dash Cam 47)	操作音やアラート音の音量を設定します。	
単位と時間	速度 / 日付 / 時刻の表示形式を設定します。	
言語	表示言語を設定します。	
音声コマンド	音声コマンドのオン / オフと言語を設定します。	
起動ワード	音声コマンドの起動ワードを設定します。	
録画ファイル	【ストレージがいっぱいになったら削除】	メモリーカードのストレージに空きがなくなったとき、未保存の常時録画データの古いものから順に自動で削除します。
	【直ちに削除】	未保存の常時録画データを、録画してから 3 分以上経過後に自動で削除します。
パーキングガード	パーキングガード機能を設定します。	
デバイス情報	デバイスのソフトウェアバージョン、ユニット ID を確認します。	
更新を確認	デバイスのソフトウェア更新を確認します。	
スピードカメラ (Dash Cam 47)	スピードカメラ情報の更新確認頻度を設定します。	
SD カードのフォーマット	microSD カードをフォーマットします。	
設定リセット	設定を初期化します。	
ヘルプ	オンラインヘルプページにアクセスします。	
デバイスを解除	デバイスのペアリングを解除します。	

デバイス情報

仕様

Garmin Dash Cam 47

Dash Cam 47	
本体サイズ(突起部含まず)	縦 4.0 × 横 5.6 × 幅 2.1 (cm)
重量	60g
ディスプレイ	2.0 インチ TFT 液晶
電源電圧	12V/24V
G センサー	○
GPS	○
スピーカー	○
内蔵バッテリー	充電式リチウムイオンバッテリー
レンズ	F1.6
インターフェース	microUSB
動作温度範囲	-20°C ~ 55°C
パーキングガード	○
前方衝突警告 (FCWS)	○
車線逸脱警告 (LDWS)	○
発進確認警告	○
スピードカメラアラート	○
ボイスコントロール	○
データカード	microSDHC /microSDXC 8GB ~ 128GB class10 以上推奨
視野角	140°
イメージセンサー	CMOS 210 万画素
フレームレート	29fps
画像補正	HDR
LED 信号対応	○
記録解像度 (動画)	1080p (1920x1080) 720p (1280x720)
記録解像度 (静止画)	200 万画素
Travelapse	○
Wi-Fi	○
録画可能時間 (16GB 使用時)	1080p (29fps) : 約 1.8 時間 720p (29fps) : 約 4.5 時間
録画フォーマット	MP4

Garmin Dash Cam Mini 2

Dash Cam Mini 2	
本体サイズ(突起部含まず)	縦 5.0 × 横 3.2 × 厚さ 3.0 (cm)
重量	33g
電源電圧	12V/24V
G センサー	○
内蔵バッテリー	スーパーキャパシタ
レンズ	F1.6
インターフェース	microUSB
動作温度範囲	-20°C ~ 55°C
パーキングガード	○ (外部電源供給時)
データカード	microSDHC /microSDXC 8GB ~ 128GB class10 以上推奨
視野角	140°
イメージセンサー	CMOS 210 万画素
フレームレート	29fps
画像補正	HDR
LED 信号対応	○
記録解像度 (動画)	1080p (1920x1080) 720p (1280x720)
記録解像度 (静止画)	200 万画素
Wi-Fi	○
録画可能時間 (16GB 使用時)	1080p (29fps) : 約 1.8 時間
録画フォーマット	MP4

microSD カードの対応規格

デバイスで使用する microSD カードは、次の規格をすべて満たす必要があります。

タイプ	microSDHC カード /microSDXC カード
容量	8GB ~ 128GB
スピードクラス	class 10 以上
ファイルシステム	FAT32

カメラのレンズのクリーニング

注意

デバイスのプラスチック部を傷めるおそれがありますので、化学洗剤または溶剤は使用しないでください。

カメラのレンズは定期的にクリーニングしてください。

- 1 レンズ用のクリーニングクロス(研磨剤不使用のもの)でレンズを拭きます。汚れがひどい場合は、クロスにイソプロピルアルコールを含ませて拭き取ります。
- 2 レンズを自然乾燥させます。

ソフトウェアアップデート

Garmin Express でソフトウェアをアップデートする

- 1 デバイスに microSD カードを挿入して、microUSB ケーブル*で PC に接続します。または、市販の microSD カードリーダーを使用して、microSD カードを PC で読み込みます。
*車両に接続してデバイスに電源を供給するためのケーブルは、PC に接続してデータを確認するためには使用できません。
- 2 [Garmin.com/ja-JP/software/express](https://support.garmin.com/ja-JP/software/express) にアクセスし、PC に Garmin Express をインストールします。
- 3 Garmin Express を起動します。画面に表示される指示に従い、Garmin Express でデバイスのセットアップを行います。
- 4 セットアップ完了後、利用可能な更新がある場合は microSD カードに更新データを送信できます。
更新データを送信したら、デバイスまたは microSD カードを PC から取り外します。
- 5 microSD カードをデバイスに挿入します。デバイスを電源に接続して、電源をオンにします。
ソフトウェアの更新が開始します。

注意：ソフトウェア更新中は、録画が停止します。
ソフトウェア更新中はデバイスを電源から取り外さないでください。

Garmin Drive アプリでソフトウェアをアップデートする

Garmin Drive アプリでデバイスのソフトウェアをアップデートするには、あらかじめ Garmin Drive アプリでデバイスとスマートフォンなどのモバイル端末をペアリングする必要があります。

参照 6 ページ [Garmin Drive アプリでスマートフォンとデバイスをペアリングする](#)

- 1 デバイスに microSD カードを挿入し、電源に接続して電源をオンにします。
- 2 スマートフォンを操作します。
Garmin Drive アプリ  を起動してアプリのダッシュボードを表示します。
- 3 利用可能な更新データがあると、ダッシュボードに **[今すぐ更新]** と表示されます。**[今すぐ更新]** を選

択して、更新データをデバイスの microSD カードに送信します。

- 4 更新データの送信が完了したら、デバイスを電源から取り外し、電源をオフにします。
- 5 再度デバイスを電源に接続し、電源をオンにします。
ソフトウェアの更新が開始します。

注意：ソフトウェア更新中は、録画が停止します。
ソフトウェア更新中は、デバイスを電源から取り外さないでください。

サポートセンター

サポートセンター

<https://support.garmin.com/ja-JP/>

チュートリアルビデオ

[\[e ラーニング\] Dash Cam 47Z](#)

電子ラベルの規制および準拠情報

デバイスの規制および準拠情報を確認します。

- 1 メインページで **へ** または **▽** を押し、メニューを表示します。
- 2 メニューをスクロールして **[設定]** を選択し、**▶** を押します。
- 3 **[システム]** を選択して **▶** を押します。
- 4 **[法規]** を選択して **▶** を押します。

付録

コンスタントパワーケーブル(別売)

⚠警告

コンスタントパワーケーブルを車両に取り付ける際は、運転機器類の操作や視界の妨げにならないよう確実にしておこなってください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠注意

コンスタントパワーケーブルの故障または使用上生じたお客様の直接、間接の損害について、当社はその責に任じません。コンスタントパワーケーブルを使用する車両や OBD II コネクターの取扱説明書および保証書等をよく読み、それらの記載を遵守してください。

コンスタントパワーケーブルを取り付け後に車両のエンジン性能の低下がみられた場合は、ただちに使用を中止し、車両から取り外してください。

取り付け

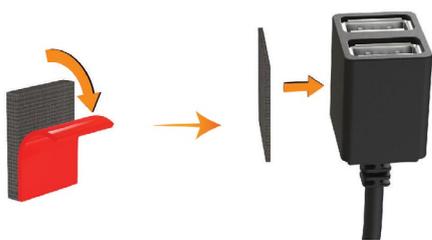
- 1 コンスタントパワーケーブルのタイマースイッチを設定します。

参照 26 ページ タイマースイッチ

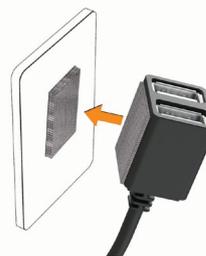
- 2 コンスタントパワーケーブルを車両の OBD II ポートに差し込みます。

OBD II ポートの位置は車両により異なりますが、一般的には運転席足元やセンターコンソール周辺などに取り付けられています。OBD II ポートについて詳しくは車両の取扱説明書または自動車販売店にご確認ください。

- 3 片側の面ファスナーの保護フィルムをはがし、ケーブルの USB ポートの側面に 10 秒ほど押し当てて貼り付けます。



- 4 水またはアルコールを使用し、柔らかい布で車両のケーブル取り付け面をきれいにふき取ります。
- 5 ふき取った箇所が完全に乾くまで待ちます。
- 6 ケーブルに貼り付けたものと対の面ファスナーの保護フィルムをはがし、車両のケーブル取り付け面に 10 秒ほど押し当てて貼り付けます。
- 7 ケーブルと車両のそれぞれに貼り付けた面ファスナーでケーブルをしっかりと固定します。



- 8 Garmin Dash Cam の USB ケーブルを、コンスタントパワーケーブルに接続します。

タイマースイッチ

タイマースイッチ①で、エンジンオフ後の電源供給時間を設定できます。エンジンがオフになるとコンスタントパワーケーブルの自動電源オフタイマーが作動します。エンジンがオンになるか、動きを検出すると、タイマーはリセットされます。



10m	10 分
24h	24 時間
∞	常時オン

車に乗っていない間の電源供給をオフにしたい場合は、**[10m]** にセットしてください。

停車中も電源供給を続けたい場合は、**[24h]** または **∞** にセットしてください。

ステータスランプ

ステータスランプの表示と意味を説明します。

LED	意味
点灯(赤)	電源供給中
点滅(赤)	自動電源オフタイマーの設定時間になりました。まもなく電源がオフになります。
消灯	供給電圧が 12V を下回っています。で車両のバッテリー保護のため、電源供給を停止しています。(低バッテリー保護機能作動中)

仕様

動作温度範囲	-20 ~ 45°C
入力	12 ~ 16 V, 1.6 A Max.
出力	5 Vdc, 1.5 A each (3.0 A total)
低バッテリー保護電圧	12 V

パーキングモードケーブル(別売)

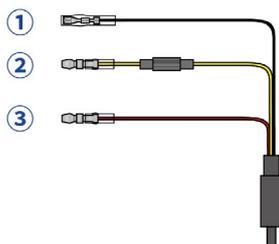
⚠注意

パーキングモードケーブルでのデバイスの取り付けは、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。誤った取り付けを行うと、車や車のバッテリーの故障につながったり、けがをするおそれがあります。

注意

エンジンスイッチに ACC が無い車にはパーキングモードケーブルで取り付けしないでください。バッテリーあがりの原因となります。

パーキングモードケーブルの長さは 4m です。デバイスの設置位置によっては、パーキングモードケーブルで取り付けられない場合があります。



①	黒：アース	車のボディの金属部に接続してください。
②	黄：バッテリー電源	車のエンジンスイッチのオン/オフに関係なく、常にバッテリーから電源が供給される電源回路に接続してください。
③	赤：アクセサリ電源	車のエンジンスイッチを ACC にした時に電源が供給される電源回路に接続してください。

トラブルシューティング

フロントカメラを再起動する

フロントカメラが応答しなくなった場合、次の手順で再起動してください。

- 1 電源ボタンを 12 秒間長押しします。デバイスの電源が強制的にオフになります。
- 2 電源ボタンを押してデバイスの電源をオンにします。

操作中にカメラが熱くなります

操作中、特に高解像度の映像録画中や Wi-Fi 使用中にデバイスが熱をもつことがあります。故障ではありません。

microSD カードを交換する(メモリーカードの劣化)

microSD カードは、データの上書きを繰り返すと劣化していきます。定期的にフォーマットすることで、カードの耐用年数が延び、パフォーマンスが向上します。ドライブレコーダーの特性上、データを連続して記録するため、microSD カードを定期的に交換する必要がある場合があります。

参照 2 ページ [microSD カードを挿入する](#)

メモリーカードエラーの発生時およびカードのフォーマットまたは交換時期になると自動でお知らせします。microSD カードの耐用年数を延ばすために、次のことを実施してください。

- microSD カードは、必要なデータをバックアップして、1～2 週間に 1 回(少なくとも 6 ヶ月に 1 回)の頻度でフォーマットを行うことを推奨します。

参照 3 ページ [microSD カードをフォーマットする](#)

- デバイスにメモリーカードエラーが発生する場合は、必要なデータを PC やスマートフォンに保存してから、microSD カードをフォーマットしてください。それでも解決しない場合は、新しい microSD カードに交換してください。

参照

3 ページ [microSD カードをフォーマットする](#)

2 ページ [microSD カードを挿入する](#)

- 車両を使用していないときは、デバイスの電源をオフにするか、パーキングガード機能を利用してください。

イグニッションスイッチ付き車両の電源以外をデバイスの電源として使用している場合、不要な映像を記録することを避けるため、車両を使用していないときは必ずデバイスの電源をオフにしてください。

- 記憶容量の大きい microSD カードを使用してください。

大容量の microSD カードは上書きされる頻度が抑えられることで、長持ちしやすくなります。

- スピードクラス class10 以上の高品質の microSD カードを使用してください。
- 交換用の microSD カードは、高品質のメーカーや信頼できる販売会社から購入してください。

録画した映像がぼやけています

次のことをお試しください。

- カメラのレンズをクリーニングしてください。
[参照 25 ページ カメラのレンズのクリーニング](#)
- 撮影範囲内のフロントガラス、リアガラスの汚れを拭き取ってください。
- カメラのレンズ部分がワイパーふき取り範囲内に収まるように、デバイスの取り付け位置を調整してください。

映像が正常に録画・再生されません

次のことをお試しください。

- スピードクラス class10 以上の microSD カードを使用してください。
- スマートフォンの Garmin Drive アプリでデバイスの映像を再生している場合は、その他の無線機器の影響が少ない場所へ移動してください。または、スマートフォンに映像を保存して再生してください。
- 必要なデータを PC やスマートフォンに保存してから、microSD カードをフォーマットしてください。
[参照 3 ページ microSD カードをフォーマットする](#)
- microSD カードエラーが発生する場合は、必要なデータを PC やスマートフォンに保存してから、microSD カードをフォーマットしてください。それでも解決しない場合は、新しい microSD カードに交換してください。
- デバイスのソフトウェアを最新のバージョンに更新してください。
[参照 25 ページ ソフトウェアアップデート](#)

録画中に液晶画面が消えてしまいます

初期設定でシステム設定の液晶省電力モードが **[1分]** に設定されているため、録画中に何も操作せずに1分間経過すると、自動でデバイスの液晶画面がオフになります。液晶省電力モード中は、ステータス LED ランプのみ点灯します。

[参照 22 ページ システム設定](#)

商標について

本操作マニュアルの内容の一部または全部を当社の承諾なしに転載または複製することはできません。

本操作マニュアルの内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更される場合があります。

製品に関する最新・補足情報については、Garmin.co.jp にアクセスしてください。

Garmin, Garmin ロゴは、米国またはその他の国における Garmin 社の登録商標です。

Garmin Dash Cam, Garmin Drive, Garmin Express, Travelapse は Garmin 社の商標です。Garmin 社の許可を得ずに使用することはできません。

Android™ は Google Inc. の登録商標です。Apple® は米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。Bluetooth® ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Garmin 社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。iOS® は Cisco Systems, Inc. の登録商標であり、Garmin 社は Apple Inc. の許諾に基づいて使用しています。microSD® および microSD ロゴは SD-3C, LLC の商標です。Wi-Fi® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

M/N: BB4113, A04117

